



月根尾

「月根尾」とは、学校のある地域の古名
「突根尾原」に由来する地名です

4/9

令和7年度 入学式

63名の新入生が
入学しました



▲ 入学式
新入生代表宣誓
石飛 凜太郎 さん

同日に「月根尾寮」
入寮式も行いました。



◀ 入寮式
入寮生代表挨拶
堀江 琉生 さん

29名の生徒が
入寮しました

始業式・入学式で話したこと

— 高校生活の中でいつも意識してほしいこと

「そうぞう」しよう

校長 馬庭 寿美代

「そうぞう」と聞いて二つの漢字を思い浮かべると思います。

「想像 (imagination)」と「創造 (creation)」です。「創造」は本校の校訓の一つにもなっています。

この両方を意識しながら学校生活を送ってほしいと思います。例えば、自分と違う個性を持っている相手が、今どのような気持ちでいるか、どのようなことをされたらうれしいか、困ると感じるか、想像しながら接してください。よりよい関係を創造していく上で、とても大切なことです。また、未来の自分を想像し、そこに近づけるよう、自分自身を創造してほしいです。そのためには、常に、今、何をすべきかについて考え、毎日の学習や部活動などに取り組むことが大切です。これらは楽しいことばかりではありませんが、一生懸命取り組んでいく中で、ふと、自分に豊かな知識や技術が身についていることがわかり、ワクワクする瞬間が訪れるはず。そうした、新しい自分に出会う喜びを感じてほしいと思います。

学校生活を送る中では、困ったり悩んだりすることも出てきます。そのときは誰かに助けを求め、支えてもらいましょう。支えてもらって立ち上がることができたら、いつか、あなたが誰かを支える側に回りましょう。

教職員も皆さんの未来を創造するために、全力で支え力を伸ばします。皆さんもいろいろなことを「そうぞう」して、よりよい飯南高校をつくっていきましょう。



入学おめでとうございます！

転任される先生方から メッセージをいただきました

3/24

岡 秀樹 校長 三刀屋高校へ

私の車のナンバーは「1176」です。これは意図的に指定したのではなく、全くの偶然です。こうした「縁」に導かれるように飯南高校で主幹教諭として平成30年・令和元年の2年間、授業改善を頑張りました。そしてこの「縁」には第2章があり、校長としてこの2年間、学校経営に携わることができました。立ち上げに関わった神楽愛好会が神楽甲子園を制覇する瞬間に2年連続で立ち会えたことは、まさに「ヒデキ・感激!」でした。素晴らしい自然と素敵な人々がいる町、飯南町。この出会いは一生忘れません。ありがとうございます。

清水 志保 先生 情報科学高校へ

4年間生徒の皆さんから元気もらいました。保健室にいた関係で保護者様や地域の医療・福祉機関の皆様と連絡を取ることも多く、様々な場面で助けていただいたことを、この場を借りて御礼申し上げます。またSCの窓口として、SCとの面談後スッキリした顔で帰って行く皆さんを大勢見てきました。悩みを話すことは決して格好悪いことではなく、レジリエンスをつけて今後の人生に向き合う生産的な行為だと改めて思いました。まだ利用したことのない方、ぜひご利用ください。

今後は飯南町の「関係人口」の一人として、飯南高校のますますのご発展を陰ながら応援しております。ありがとうございました。

廣戸 理継 先生 出雲農林高校へ

飯南高校での6年間は、振り返ってみると、長かったようにも短かったようにも感じます。

飯南高校は良い学校だと思いますし、支えていただいている飯南町もよい町だと思います。ぜひ、みなさんと飯南高校と飯南町をこれまで以上に盛り上げていってください。

佐藤 寛子 先生

飯南町での4年間の思い出を振り返ると、たくさんの温かな思い出が心に浮かびます。日々の実習授業や掃除の時間での何気ないやり取りに癒されたり、部活動でいろいろなことに挑戦する姿に励まされたり、生徒の皆さんから多くの学びや感情をいただいたと思っています。また、生命地域学で地域の方々に本当に親身になって協力していただいたことや、職員の皆様には公私ともに楽しい思い出を作っていただけたことにも心から感謝しています。次の赴任地でも、飯南でいただいたものを糧に頑張っていきたいと思いません。本当にありがとうございました。

3学期終業式後に、転任式が行われました。今まで熱心な指導をしていただき、ありがとうございました。

伊藤 由実子 教頭 学校教育課へ

飯南高校といえば「総合的な探究の時間」と「生命地域学」です。興味や関心、社会課題から問いを見つけ、協働して情報を集め分析し、新しい考えでよりよい社会にしようとする授業です。やり方や内容に定まったものはなく、授業案作成はなかなか難しかったです。しかし、今年の「メロン農家を救え!」で、生徒たちは誰に言われたわけでもなく、授業後も卒業後も研究を続け、苗の定植器を進化させました。彼らの脳裏には高齢者が立ったままラクな姿勢で作業をしている光景が浮かんでいたと思います。飯南高校には充実した授業と惜しみない応援があります。先輩のあとに続くよう、がんばってください。

伊藤 千晶 先生

短い期間でしたが、飯南高校の皆さんと触れ合う事ができ、とても元気をいただきました。

中山間地域体験学習での積極的な活動、資源獲得プレゼンでの地域の方々との幅広い交流等々、皆で力を合わせて団結力を発揮する姿がとても皆さんらしく、大変魅力的でした。

これからも、たまには力を抜きながら、自分のペースで過ごしていける事を心より願っています。自分の力を信じて、ゆっくりと進んでいきましょうね。応援しています。

森脇 幸夫 さん 出雲農林高校へ

令和2年度の着任からの5年間は、新型コロナウイルスによる学校設備の整備、世界情勢の緊張による物価高騰、特に電気代の高騰は、予算管理運営をする中で非常に苦勞しました。

飯南町の皆さんにも、公私にわたり大変お世話になり、充実した5年間を過ごすことが出来、大変感謝しております。

次の勤務先でも凡事徹底していきたいと思えます。ありがとうございました。

山根 史良 さん

3年間、お世話になりました。1年目は現代社会(公共)の常勤講師として勤務し、2・3年目はPTA事務職員として、また舎監としても勤務させて頂きました。短い期間ではありましたが、充実した日々を過ごせました。ありがとうございました。みなさんも飯南高校での思い出や、得たことを大切に、これからも人として人のために、出来ることからコツコツと人生を楽しく歩んでください。応援しています。一段と成長したみなさんにお会いすることを楽しみにしています。

永瀬 友真 コーディネーター

社会人1年目から4年間、生徒の皆さん、教職員の皆さん、地域の皆さんに育てていただきました。本当にありがとうございました。生徒の皆さんと毎日会うと、とてもエネルギーがいつも元気をもらっていました。これからも、その若い力で挑戦し続けてください。一歩踏み出してみてください。答えは常に一歩踏み出した先にあります。

私も飯南町に残り、別のスタイルで挑戦します。もしかしたら、授業でかかわることがあるかもしれませんね。またどこかで会ったら、いつもの感じで気軽に声をかけてください!それではまた!

2年生 生命地域学 課題研究 資源獲得プレゼンテーション 3/12-13

2年生は、7月から「課題研究」に取り組み始め、「自分の好き」と「誰かの困った」をかけ合わせ、身近な誰かを喜ばせる挑戦をしています。

今回は、2年生(全17班:右上掲載)が、自分たちのアイデアをカタチにするため、このプレゼンテーションに臨みました。

地域の皆さんに研究テーマをアピールし、アイデアの実現に必要な資源(ヒト・モノ・コト・カネ・チエ)に関する情報を提供していただきました。



← こちらから当日のプレゼンテーション動画をご覧いただけます。資源に関する情報をお寄せください!

- さつまいもを使って親子のつながりを増やそう
- 飯南町の木材の使い道を増やす
- 飯南町の山菜をもっと知ってもらおう!
- 林業の魅力を発信しよう
- 高齢者と子どもの交流を深めよう
- 野球人口を増やして飯南町を盛り上げよう
- 花で魅力発信 ●集まれ飯南キッズ
- ワニ活するゾ! ●飯南町農業作戦
- CHILDREN CAFETERIA
- アレルギー食品を使わずに健康的な献立を考えよう!
- ゴミを拾ってキレイキレイ
- レモネードスタンドで子供たちとかかわりを
- 化けろサマーグレンデ ●親子で楽しく健康づくり
- 飯南町の“関係人口”を増やす!



ハンドボール部 3/15

令和6年度島根県ハンドボールチャレンジカップ

試合出場機会の少ない選手を中心に、試合経験をさせることを目的として開催された今大会。2年生は学生審判員として参加するなど、貴重な体験をさせていただきました。

優秀な審判員として中山結葉さんがグッドレフェリー賞を、将来有望な選手として吾郷優真さんが優秀選手賞を受賞しました!



吹奏楽部 3/16

三校合同定期演奏会

連携中学校の頓原中学校・赤来中学校の吹奏楽部の皆さんと一緒に、定期演奏会を開催しました。本校からは卒業生も参加し、各校の演奏、三校合同演奏を行いました。たくさんの皆さんに会場にお越しいただきありがとうございました!



第6回発明楽コンテストで「発明楽大賞」を受賞!

本校生徒の発明が特許出願されました!



令和6年度【3年2組・2C班】左から
竹内槍將斗さん、三上薫さん、五所尾航大さん



さらに、このコンテストで発表した発明に関して、BSS 山陰放送様および鳥取県知財総合支援窓口様のご協力のもと、苗の設置と土寄せ作業を効率化する画期的な農業用器具の発明内容について、特許出願を行いました。(※発明者は2C班の生徒、その発明をもとにBSS山陰放送様が出願人となって出願されています。)

このたびの特許出願は、本校の学校設定教科「生命地域学」において、生徒たちが地域の課題解決に真剣に取り組んできた成果の一つです。また、今回の成果が、本校の次世代型探究学習のモデルとして、地域と未来をつなぐ実践の一步となったことを、大変嬉しく思います。

発明楽大賞を受賞した2C班の生徒の皆さん、そしてご支援くださった飯南地域の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

鳥取大学医学部附属病院およびBSS山陰放送が主催する「第6回発明楽コンテスト」が開催されました。このコンテストは、高校生が日常生活の中で感じた課題に向き合い、創造的な発明を通じて未来への一步を踏み出すことを目的としたものです。

今回のテーマは「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福(Well-Being)になれるアイデア」。全国から約40チームが応募する中で、3年2組の2C班が提案した「定植器で農家を救え!メロン用定植器」が、最優秀賞にあたる「発明楽大賞」を受賞しました!



苗植えと土寄せの作業を立ったまま行える定植器を発明!



①トレイから苗をつかむ



②苗を置く



③土を寄せる

5月の主な行事予定



- 1日(木) SC来校(PM:飛田先生)
- 8日(木) 防災避難訓練
- 9日(金) 試験発表
- 16日(金) 中間試験(~19日)
- 17日(土) 出校日
PTA総会(午後)

- 17日(土) 月根尾寮保護者会(午後)
- 19日(月) 総体壮行式
総体激励旬間(~6/4)
- 30日(金) 前期総体(~6/1)

6月 5日(木) 後期総体(~6/7)